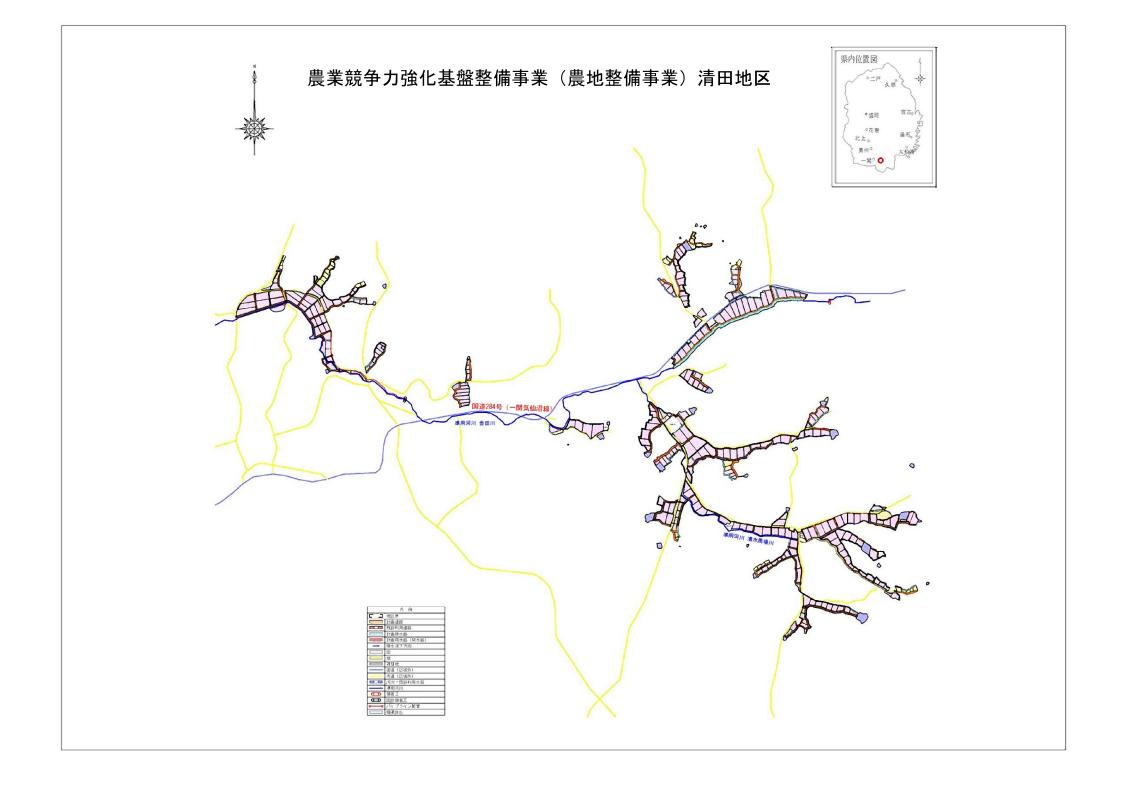
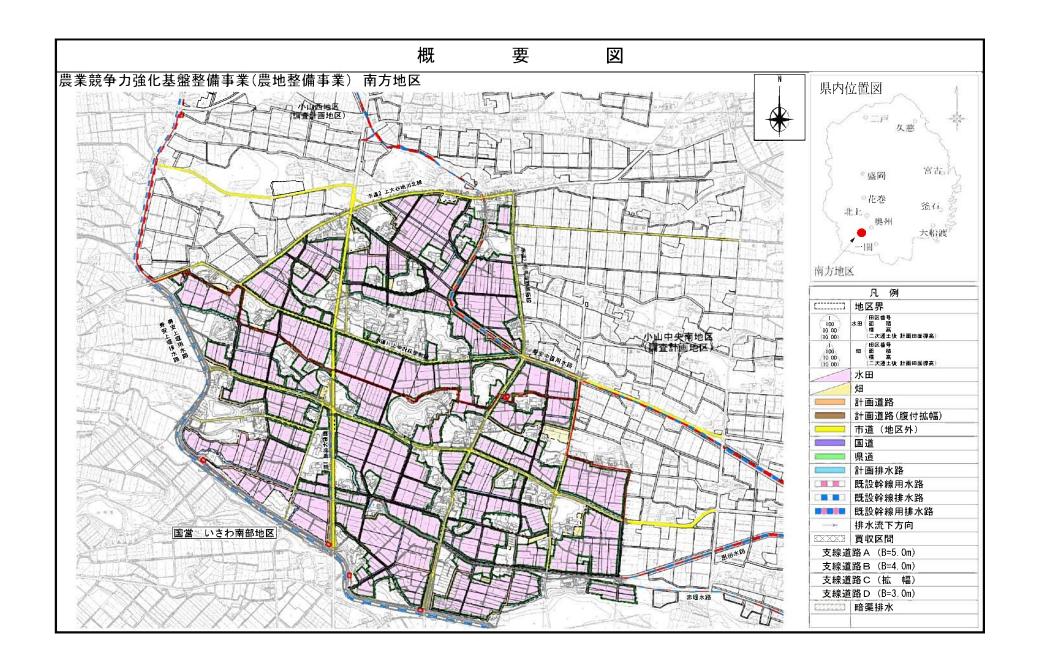
			 	<u> </u>	
事 業 名	農業競争力強化基 農地整備事業	盤整備事業	地区名	清田	
関係市町村	岩手県一関市		事業主体 岩手県		
事業目的	本地区は、一関市の中心市街地より東へ約5~7kmに位置している山間地域で、地区を東西に流れる準用河川金田川と一般国道284号沿いに広がる農地である。本地区の農地は、昭和40年代に構造改善事業金田地区(第13区)及び昭和50年代に団体営ほ場整備事業北小梨地区(第11区)の整備を行っているが、小区画であるため、農業機械の作業効率低下をきたしている。また、水路は用排兼用の土水路であるため、堆積土砂により埋塞するなど、維持管理に多大な労力と費用を要しているほか、地下水位が高い状態にあり水田の汎用化が困難な状況となっている。 このため、本事業により区画整理によるほ場の大区画化を行うことで担い手への農地集積を加速化させ、本地域の農業競争力の強化を図るものである。				
—————— 事業概要	受益面積	受益戸数	総事業費	費 エ 期	
	66 ha	144戸	1,818百万	5円 平成28~33年度	
	主要工事	区画整理 66h <u></u> 該当なし	a 		
弗巴拉拉田	D 纵压 #	0	D / 0	第中十十	
費用対効果	B:総便益	C:総費用	B/C		
概要図	2,564百万円 別添のとおり	1,528百万円		1.67 総費用総便益比方式	

出典:清田地区土地改良事業計画概要書(岩手県農林水産部農村計画課作成)



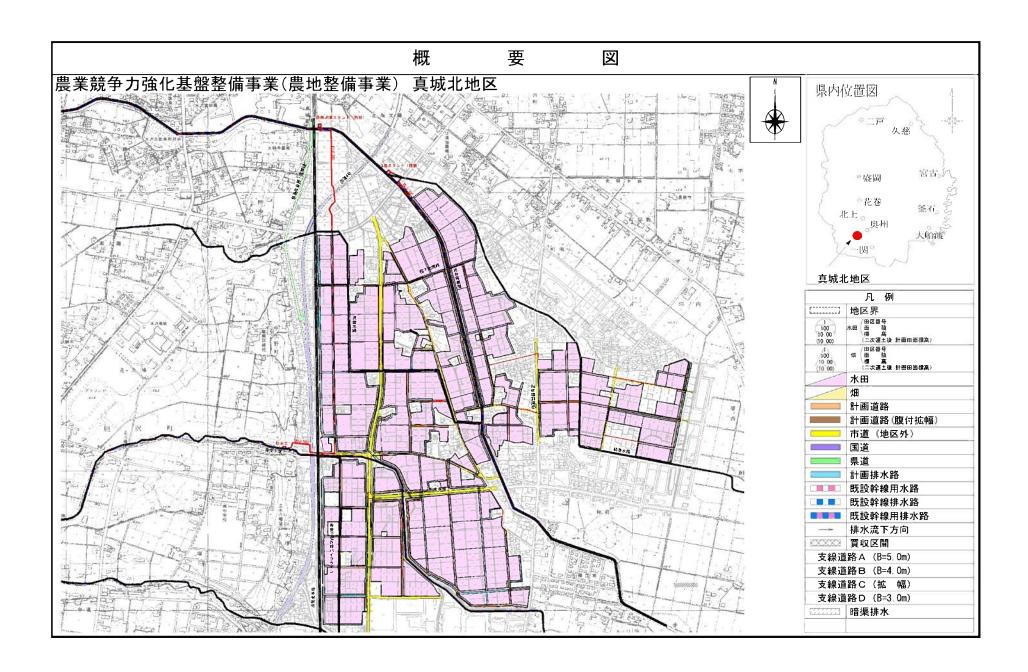
		地区加事来	W У		
事 業 名	農業競争力強化基農地整備事業	地区名	^{なんぼう} 南方		
関係市町村	_{おうしゅうし} 岩手県奥州市	事業主体	岩手県		
事業目的	本地区は、奥羽山脈に源を発する胆沢川により形成された扇状地の扇央部に位置する水田地帯である。 本地区のほ場は、昭和30年~35年頃に整備されているが、区画は10aと小さく、 農道は狭小、水路も用排兼用の土水路で断面が狭小であるため、末端では用水不 足が生じ、また十分な排水機能を果たしておらず営農上支障をきたしている状況 である。 このため、本事業により国営かんがい排水事業等と一体的に区画整理によるほ 場の大区画化を行うことで担い手へ農地集積を加速化させ本地域の農業競争力の 強化を図るものである。				
事業概要	受益面積	受益戸数	総事業費	ŧ	工期
	118 ha	113戸	2, 709百万	i円	平成28~33年度
	関連事業	事業 国営かんがい排水事業 胆沢平野地区 県営かんがい排水事業 胆沢平野地区			
費用対効果	B:総便益	C:総費用	B/C		 算定方式
	3,934百万円	2,800百万円	1. 40	総	費用総便益比方式
概要図	別添のとおり				

出典:南方地区土地改良事業計画概要書(岩手県農林水産部農村計画課作成)



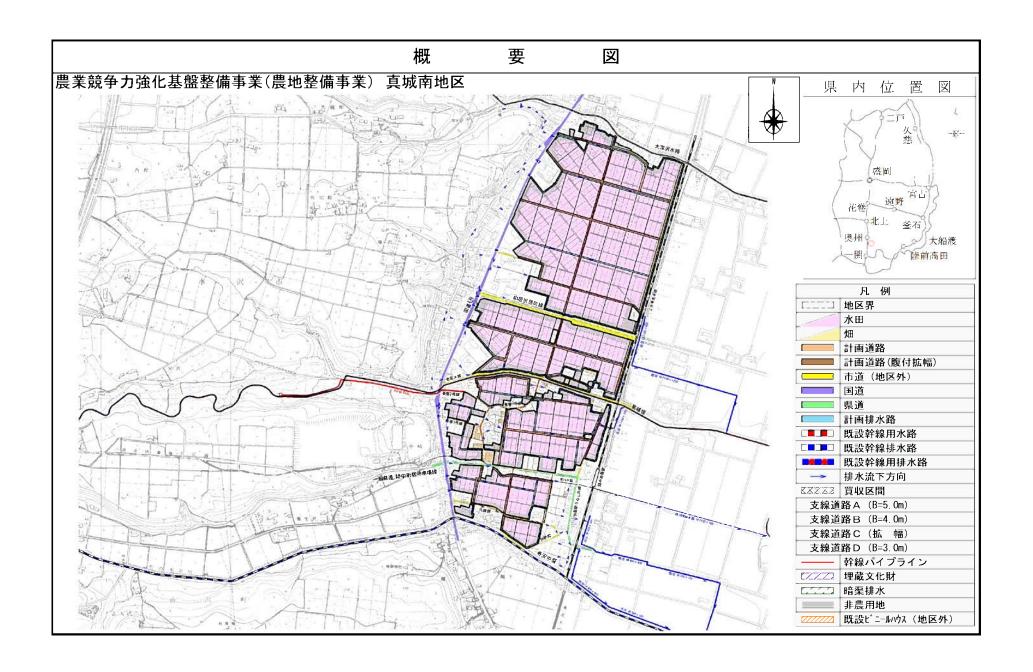
F					
事 業 名	農業競争力強化基 農地整備事業	盤整備事業	地区名	真城北	
関係市町村	^{おうしゅうし} 岩手県奥州市		事業主体	岩手県	
事業目的	本地区は、奥羽山脈に源を発する胆沢川により形成された扇状地の扇央部に位置する水田地帯である。 本地区のほ場は、昭和30年代の積雪寒冷地帯土地改良事業胆沢平野地区で整備されているが、区画は10a~20aと小さく、農道も狭小であることから、大型機械導入の妨げとなっている。また、水路も用排兼用の土水路であることから、堆積土砂により埋塞する箇所が発生し、用水不足や排水不良が生じるほか、維持管理に多大な労力と費用を要しており、効率的な営農の妨げとなっている。 このため、本事業により国営かんがい排水事業等と一体的に区画整理によるほ場の大区画化を行うことで担い手へ農地集積を加速化させ本地域の農業競争力の強化を図るものである。				
事業概要	受益面積	受益戸数	総事業費	エ 期	
	70 ha	121 戸	1,581百万	i円 平成28~33年度	
	関連事業	国営かんがい排水事			
 費用対効果	B:総便益	県営かんがい排水事 C:総費用	<u>業 胆沢平野</u> B/C		
36/13/13/33/10	2,601百万円	1, 704百万円	1. 52	総費用総便益比方式	
概要図	別添のとおり				

出典:真城北地区土地改良事業計画概要書(岩手県農林水産部農村計画課作成)



	<u> </u>					
事 業 名	農業競争力強化基盤 農地整備事業	整備事業	地区名	LAUC + 5 3 4 5 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4		
関係市町村	_{おうしゅうし} 岩手県奥州市		事業主体	岩手県		
事業目的	本地区は、奥羽山脈に源を発する胆沢川により形成された扇状地の扇央部に位置する水田地帯である。 本地区のほ場は、昭和30年代の積雪寒冷地帯土地改良事業胆沢平野地区で整備されているが、区画は10a~20aと小さく、農道も狭小であることから、大型機械導入の妨げとなっている。また、水路も用排兼用の土水路であることから、堆積土砂により埋塞する箇所が発生し、用水不足や排水不良が生じるほか、維持管理に多大な労力と費用を要しており、効率的な営農の妨げとなっている。 このため、本事業により国営かんがい排水事業等と一体的に区画整理によるほ場の大区画化を行うことで担い手へ農地集積を加速化させ本地域の農業競争力の強化を図るものである。					
事業概要	受益面積	受益戸数	総事業領	サ エ 期		
	59 ha	89 戸	1,278 百2	5円 平成28~33年度		
	主要工事	区画整理 59ha				
	関連事業	国営かんがい排水事 県営かんがい排水事		• =:		
費用対効果	B:総便益	C:総費用	B/C			
	2, 403百万円	1, 481百万円	1. 62	総費用総便益比方式		
概要図	別添のとおり					

出典:真城南地区土地改良事業計画概要書(岩手県農林水産部農村計画課作成)



事 業 名	農業競争力基盤総合 農地整備事業	合整備事業	地区名	^{ぬまた・やぎ} 沼田・八木		
関係市町村	宮城県栗原市		事業主体	宮城県		
事業目的 本地区は宮城県の北部に位置し、地区北側に一級河川迫川が流れる平坦な水田地帯であり、水稲を中心とした複合経営農業で良質米の産地として確立した農村地帯である。 本地区の農地は、昭和初期の耕地整理事業により整備された10a未満の小区画であり、道路は狭小で大型機械の交通が出来ず、水路は用排兼用の土水路となっており排水が悪く、営農に支障をきたしている。 このため、本事業により国営かんがい排水事業等と一体的に区画整理によるほ場の大区画化を行い、優良農地を確保し、担い手への農地集積の加速化を図り、本地域の農業競争力の強化を図るものである。						
事業概要	受益面積	受益戸数	総事業費	サー エ	期	
	59 ha	105 戸	1,136 百	万円 平成28	平成28~33年度	
	主要工事	区画整理 59ha				
	関連事業 国営かんがい排水事業 迫川上流地区 国営かんがい排水事業 迫川上流2期地区 県営かんがい排水事業 迫川上流2期地区					
費用対効果	B:総便益	C:総費用	B∕C	算分	官方式	
	1,537 百万円	1,268 百万円	1. 21	総費用総係	更益比方式	
概要図	別添のとおり					

出典:沼田・八木地区土地改良事業計画概要書(宮城県農村振興課作成)

概 义 農業競争力強化基盤整備事業(農地整備事業) 沼田・八木地区 県内 位置図 据 水 機 場 既 設 道 路 既 設 用 水 路 — — —